

## 第348回 昭和の森自然観察会

### 生き物たちの冬支度

川北紀子（千葉市）

日 時：2020年12月13日（日）10時～12時 天候：晴れ

参加者：17名（大人9名 子ども8名）

担当指導員：小川洋子・萩 將勝・川北紀子

コロナ禍ではありますが、12月にしては暖かく、お天気に恵まれた観察会となりました。コロナ感染には注意をはらい、4つの少人数での班分けをしてのスタートとなりました。まずはケヤキの樹皮の下を覗いての虫探し！！ 子どもたちは熱心に冬越しするクモ等の姿を探してくれました。次に芝生の広場でモグラ塚を観察しました。モグラ塚の穴を見つけて、用意した1メートルほどの笹の棒を差し込みながら、モグラのトンネル探しをしてもらいました。たくさんのモグラ塚が地中で繋がっていて、そこでモグラが生活している姿を想像しながら、大人も子どもたちも夢中になってトンネル探しをしていました。担当指導員のモグラの生活を描いた絵本を使っての説明にも、とっても興味を持ってくれました。その後、ケヤキの大木でヨコヅナサシガメの幼虫を捕獲し、体形や特色のある口吻などをじっくりと観察しました。林縁では、ロゼットを広げている植物等やフユイチゴの赤い実も見つけて楽しみました。最後は担当指導員が事前にクヌギに巻いておいた「菰」を外しての虫探しです。特大のゴキブリ・ヨコヅナサシガメ・クヌギカメムシの仲間・カニグモやハエトリグモの仲間を観察することができました。見過ごしてしまいかちな冬の生き物たちの姿を色々と身近に観察することができて、参加者たちが深く感激していたのがとっても印象的でした。



笹の棒を差し込みながら、モグラ塚のトンネル探しに参加者たちは夢中でした。



事前に巻いておいた「菰」を外すと色々な虫たちの冬支度が観察できました。